

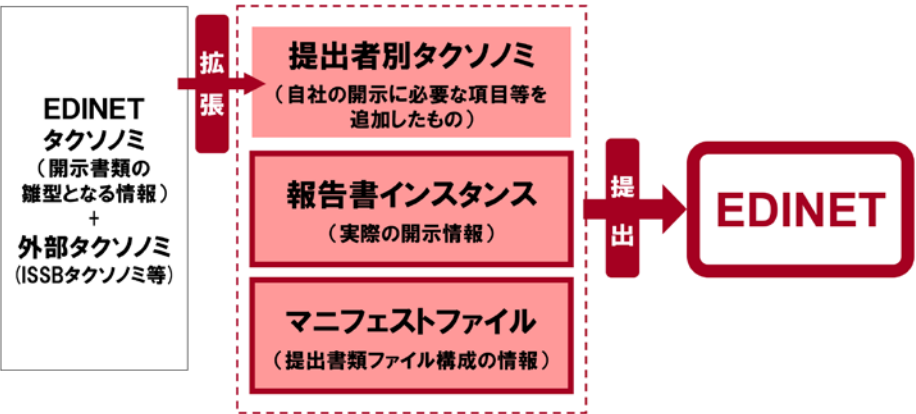
○報告書インスタンス作成ガイドライン 新旧対照表

新	旧																																																												
はじめに (略) → 前提となる文書 報告書インスタンスは、EDINET において正しく受理、審査又は閲覧されるために、XBRL の仕様及び指針に従って作成します。また、報告書インスタンスが前提とするタクソノミは提出者別タクソノミであり、同タクソノミは金融庁が定めるガイドラインに従って作成します。本書が前提とするXBRL の仕様及び指針は、次の図表のとおりです。ただし、本書の内容と XBRL 仕様及び指針の間に不整合がある場合は、本書を優先してください。 <table><tr><th>No</th><th>文書名</th></tr><tr><td>1</td><td>提出者別タクソノミ作成ガイドライン</td></tr><tr><td>2</td><td>XBRL2.1 Specification</td></tr><tr><td>3</td><td>XBRL Dimensions 1.0</td></tr><tr><td>4</td><td><u>Extensible Enumerations 2.0</u></td></tr><tr><td><u>5</u></td><td>Inline XBRL 1.0</td></tr><tr><td><u>6</u></td><td>XHTML 1.1</td></tr><tr><td><u>7</u></td><td>CSS 2.1</td></tr><tr><td><u>8</u></td><td>FRIS (Financial Reporting Instance Standards) 1.0</td></tr><tr><td><u>9</u></td><td>GFM (Global Filing Manual) Version: 2011-04-19</td></tr></table> (略) → 参考書類について 本書の主な参考書類は、次の図表のとおりです。 <table><tr><th>資料名</th><th>概要</th></tr><tr><td>タクソノミ要素リスト</td><td>EDINETタクソノミ(財務諸表本表タクソノミ及び国際会計基準タクソノミを除く。)及び外部タクソノミに定義された要素一覧です。</td></tr><tr><td>勘定科目リスト</td><td>財務諸表本表タクソノミ(日本基準)に定義された勘定科目の一覧です。</td></tr><tr><td>国際会計基準要素リスト</td><td>国際会計基準タクソノミに定義された勘定科目の一覧です。</td></tr><tr><td><u>サステナ関連要素リスト</u></td><td><u>サステナ関連タクソノミ及び外部タクソノミに定義された要素一覧です。</u></td></tr></table> (略) (略)	No	文書名	1	提出者別タクソノミ作成ガイドライン	2	XBRL2.1 Specification	3	XBRL Dimensions 1.0	4	<u>Extensible Enumerations 2.0</u>	<u>5</u>	Inline XBRL 1.0	<u>6</u>	XHTML 1.1	<u>7</u>	CSS 2.1	<u>8</u>	FRIS (Financial Reporting Instance Standards) 1.0	<u>9</u>	GFM (Global Filing Manual) Version: 2011-04-19	資料名	概要	タクソノミ要素リスト	EDINETタクソノミ(財務諸表本表タクソノミ及び国際会計基準タクソノミを除く。)及び外部タクソノミに定義された要素一覧です。	勘定科目リスト	財務諸表本表タクソノミ(日本基準)に定義された勘定科目の一覧です。	国際会計基準要素リスト	国際会計基準タクソノミに定義された勘定科目の一覧です。	<u>サステナ関連要素リスト</u>	<u>サステナ関連タクソノミ及び外部タクソノミに定義された要素一覧です。</u>	はじめに (略) → 前提となる文書 報告書インスタンスは、EDINET において正しく受理、審査又は閲覧されるために、XBRL の仕様及び指針に従って作成します。また、報告書インスタンスが前提とするタクソノミは提出者別タクソノミであり、同タクソノミは金融庁が定めるガイドラインに従って作成します。本書が前提とするXBRL の仕様及び指針は、次の図表のとおりです。ただし、本書の内容と XBRL 仕様及び指針の間に不整合がある場合は、本書を優先してください。 <table><tr><th>No</th><th>文書名</th></tr><tr><td>1</td><td>提出者別タクソノミ作成ガイドライン</td></tr><tr><td>2</td><td>XBRL2.1 Specification</td></tr><tr><td>3</td><td>XBRL Dimensions 1.0</td></tr><tr><td colspan="2">(追加)</td></tr><tr><td><u>4</u></td><td>Inline XBRL 1.0</td></tr><tr><td><u>5</u></td><td>XHTML 1.1</td></tr><tr><td><u>6</u></td><td>CSS 2.1</td></tr><tr><td><u>7</u></td><td>FRIS (Financial Reporting Instance Standards) 1.0</td></tr><tr><td><u>8</u></td><td>GFM (Global Filing Manual) Version: 2011-04-19</td></tr></table> (略) → 参考書類について 本書の主な参考書類は、次の図表のとおりです。 <table><tr><th>資料名</th><th>概要</th></tr><tr><td>タクソノミ要素リスト</td><td>EDINETタクソノミ(財務諸表本表タクソノミ及び国際会計基準タクソノミを除く。)に定義された要素一覧です。</td></tr><tr><td>勘定科目リスト</td><td>財務諸表本表タクソノミ(日本基準)に定義された勘定科目の一覧です。</td></tr><tr><td>国際会計基準要素リスト</td><td>国際会計基準タクソノミに定義された勘定科目の一覧です。</td></tr><tr><td colspan="2">(追加)</td></tr></table> (略) (略)	No	文書名	1	提出者別タクソノミ作成ガイドライン	2	XBRL2.1 Specification	3	XBRL Dimensions 1.0	(追加)		<u>4</u>	Inline XBRL 1.0	<u>5</u>	XHTML 1.1	<u>6</u>	CSS 2.1	<u>7</u>	FRIS (Financial Reporting Instance Standards) 1.0	<u>8</u>	GFM (Global Filing Manual) Version: 2011-04-19	資料名	概要	タクソノミ要素リスト	EDINETタクソノミ(財務諸表本表タクソノミ及び国際会計基準タクソノミを除く。)に定義された要素一覧です。	勘定科目リスト	財務諸表本表タクソノミ(日本基準)に定義された勘定科目の一覧です。	国際会計基準要素リスト	国際会計基準タクソノミに定義された勘定科目の一覧です。	(追加)	
No	文書名																																																												
1	提出者別タクソノミ作成ガイドライン																																																												
2	XBRL2.1 Specification																																																												
3	XBRL Dimensions 1.0																																																												
4	<u>Extensible Enumerations 2.0</u>																																																												
<u>5</u>	Inline XBRL 1.0																																																												
<u>6</u>	XHTML 1.1																																																												
<u>7</u>	CSS 2.1																																																												
<u>8</u>	FRIS (Financial Reporting Instance Standards) 1.0																																																												
<u>9</u>	GFM (Global Filing Manual) Version: 2011-04-19																																																												
資料名	概要																																																												
タクソノミ要素リスト	EDINETタクソノミ(財務諸表本表タクソノミ及び国際会計基準タクソノミを除く。)及び外部タクソノミに定義された要素一覧です。																																																												
勘定科目リスト	財務諸表本表タクソノミ(日本基準)に定義された勘定科目の一覧です。																																																												
国際会計基準要素リスト	国際会計基準タクソノミに定義された勘定科目の一覧です。																																																												
<u>サステナ関連要素リスト</u>	<u>サステナ関連タクソノミ及び外部タクソノミに定義された要素一覧です。</u>																																																												
No	文書名																																																												
1	提出者別タクソノミ作成ガイドライン																																																												
2	XBRL2.1 Specification																																																												
3	XBRL Dimensions 1.0																																																												
(追加)																																																													
<u>4</u>	Inline XBRL 1.0																																																												
<u>5</u>	XHTML 1.1																																																												
<u>6</u>	CSS 2.1																																																												
<u>7</u>	FRIS (Financial Reporting Instance Standards) 1.0																																																												
<u>8</u>	GFM (Global Filing Manual) Version: 2011-04-19																																																												
資料名	概要																																																												
タクソノミ要素リスト	EDINETタクソノミ(財務諸表本表タクソノミ及び国際会計基準タクソノミを除く。)に定義された要素一覧です。																																																												
勘定科目リスト	財務諸表本表タクソノミ(日本基準)に定義された勘定科目の一覧です。																																																												
国際会計基準要素リスト	国際会計基準タクソノミに定義された勘定科目の一覧です。																																																												
(追加)																																																													

1-1 提出書類の全体像

(略)

図表 1-1-1 提出する書類(XBRLのみ)のイメージ



(略)

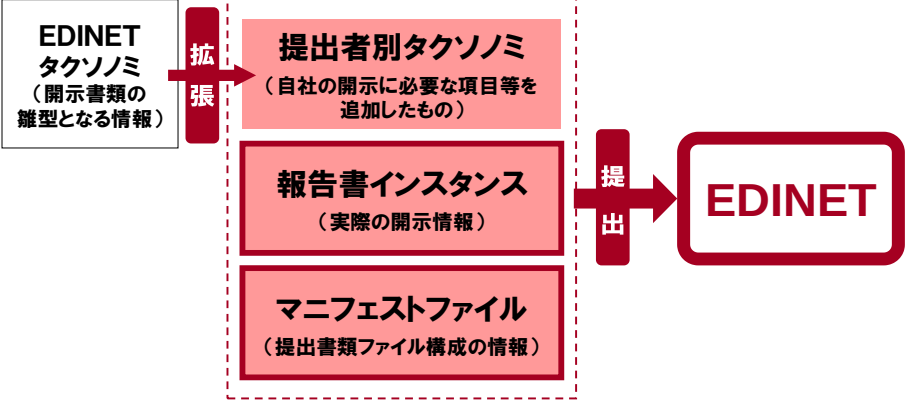
1-1-1 提出者別タクソノミとは

EDINET で扱う XBRL のタクソノミは、金融庁が提供する「EDINET タクソノミ」及び EDINET タクソノミが参照する「外部タクソノミ」と、EDINET タクソノミをベースタクソノミとして開示書類等提出者が拡張する「提出者別タクソノミ」とがあります。提出者別タクソノミは、これから報告しようとする内容に必要な概念及び項目が、EDINET タクソノミに存在しない場合に、独自の概念及び項目を定義し、EDINET タクソノミを利用して新たに構成し、各報告内容の項目間の関係を正しく反映したファイルです。提出者別タクソノミは必ず作成します。なお、EDINET タクソノミに定義されている要素を、提出者別タクソノミで再定義する必要はありません。また、使用しない要素は、原則として提出者別タクソノミに定義しません。EDINET タクソノミ及び提出者別タクソノミについての詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』を参照してください。

1-1 提出書類の全体像

(略)

図表 1-1-1 提出する書類(XBRLのみ)のイメージ



(略)

1-1-1 提出者別タクソノミとは

EDINET で扱う XBRL のタクソノミは、金融庁が提供する「EDINET タクソノミ」と、EDINET タクソノミをベースタクソノミとして開示書類等提出者が拡張する「提出者別タクソノミ」とがあります。提出者別タクソノミは、これから報告しようとする内容に必要な概念及び項目が、EDINET タクソノミに存在しない場合に、独自の概念及び項目を定義し、EDINET タクソノミを利用して新たに構成し、各報告内容の項目間の関係を正しく反映したファイルです。提出者別タクソノミは必ず作成します。なお、EDINET タクソノミに定義されている要素を、提出者別タクソノミで再定義する必要はありません。また、使用しない要素は、原則として提出者別タクソノミに定義しません。EDINET タクソノミ及び提出者別タクソノミについての詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』を参照してください。

4-1 報告書インスタンスのファイル構成

報告書インスタンスのファイル構成について説明します。

報告書インスタンスには、提出者別タクソノミの参照、ユニットの定義、コンテキストの定義及びDEIを設定する必要があります。これらの情報は、提出書類本文全体をタグ付けする場合と財務諸表本表のみをタグ付けする場合とで、定義する場所が異なります。

次の図表にあるように、提出書類本文全体をタグ付けする場合は、表紙ファイルに定義します。

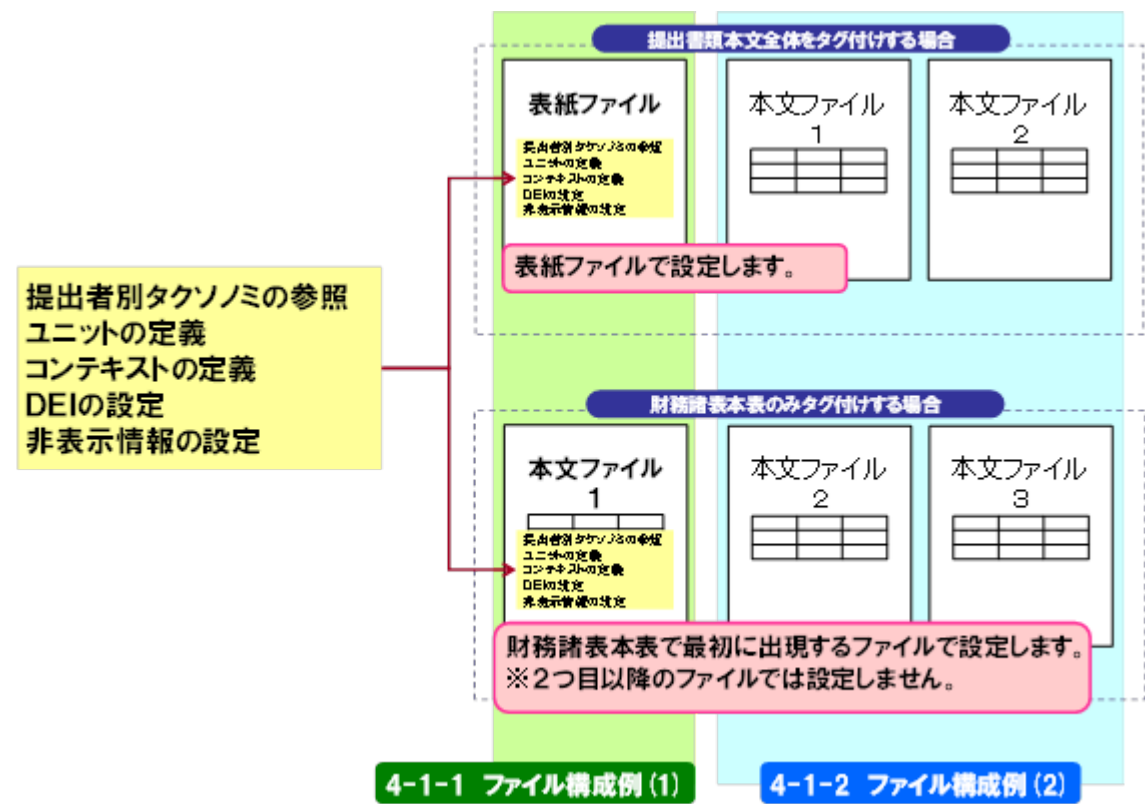
また、財務諸表本表のみタグ付けする場合は、本表の一つ目のファイルに定義します。独立監査人の報告書ファイルには、提出者別タクソノミの参照及びコンテキストを定義します（ユニットの定義及びDEIの設定は不要です。）。

なお、非表示情報を設定する場合も、提出書類本文全体をタグ付けする場合は表紙ファイルに、財務諸表本表のみをタグ付けする場合は本表の一つ目のファイルに設定します。

提出書類本文全体をタグ付けする場合の表紙ファイル並びに財務諸表本表のみタグ付けする場合の本表一つ目のファイルイメージ及び独立監査人の報告書ファイルは、「4-1-1 ファイル構成例(1)」を参照してください。

提出書類本文全体をタグ付けする場合の本文ファイルと、財務諸表本表のみタグ付けする場合の二つ目以降のファイルイメージは、「4-1-2 ファイル構成例(2)」を参照してください。

図表 4-1-1 ファイル構成のイメージ



4-1 報告書インスタンスのファイル構成

報告書インスタンスのファイル構成について説明します。

報告書インスタンスには、提出者別タクソノミの参照、ユニットの定義、コンテキストの定義及びDEIを設定する必要があります。これらの情報は、提出書類本文全体をタグ付けする場合と財務諸表本表のみをタグ付けする場合とで、定義する場所が異なります。

次の図表にあるように、提出書類本文全体をタグ付けする場合は、表紙ファイルに定義します。

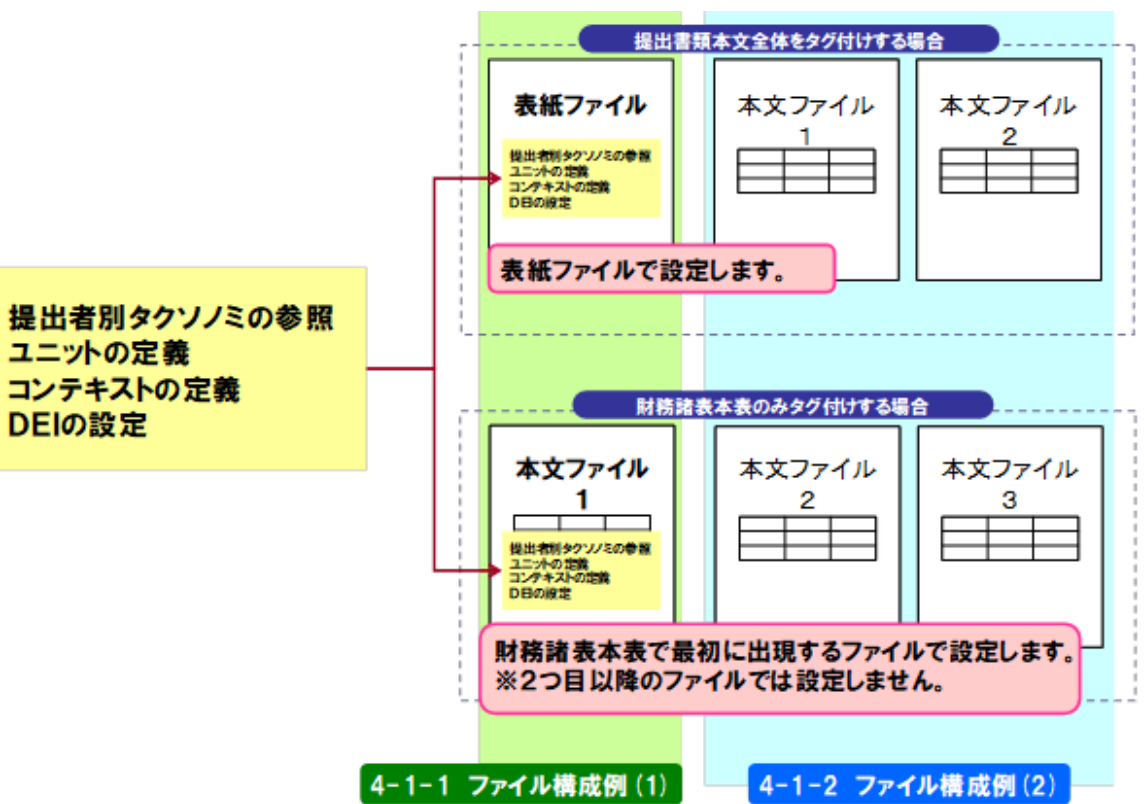
また、財務諸表本表のみタグ付けする場合は、本表の一つ目のファイルに定義します。独立監査人の報告書ファイルには、提出者別タクソノミの参照及びコンテキストを定義します（ユニットの定義及びDEIの設定は不要です。）。

(追加)

提出書類本文全体をタグ付けする場合の表紙ファイル並びに財務諸表本表のみタグ付けする場合の本表一つ目のファイルイメージ及び独立監査人の報告書ファイルは、「4-1-1 ファイル構成例(1)」を参照してください。

提出書類本文全体をタグ付けする場合の本文ファイルと、財務諸表本表のみタグ付けする場合の二つ目以降のファイルイメージは、「4-1-2 ファイル構成例(2)」を参照してください。

図表 4-1-1 ファイル構成のイメージ



新

4-1-1 ファイル構成例 (1)

(略)

図表 4-1-2 表紙ファイルのイメージ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<html version="-//XBRL International//DTD XHTML Inline XBRL
xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xmlns:ix="http://www.x
xmlns:ixt="http://www.xbrl.org/inlineXBRL/transformation/2011
xmlns:jpdei_cor="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jp
fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2013-08-31/jpcrp_cor" xmlns:jppfs_c
xmlns:jpcrp030000-asr_X99001-000="http://disclosure.edinet-
xmlns:xbrldi="http://xbrl.org/2006/xbrldi" xmlns:xbrli="http://ww
xmlns:iso4217="http://www.xbrl.org/2003/iso4217" xmlns:xlink
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=
<style type="text/css">
body {margin: 9pt; font-family: "MS Mincho",serif; font-size: 9pt;
...
</style>
<title>開示府令&#160;&#160;有価証券報告書 (XBRLタグ付けサンプル)</title>
</head>
<body>
<div class="root">
<h2>【表紙】</h2>
<br />
<table>
...
<td style="padding: 0pt; vertical-align: top">
<p style="margin-top: 0pt; margin-right: 9.0pt; margin-left: 18.
【提出書類】
</p>
</td>
<td style="padding: 0pt; vertical-align: top">
<p style="margin: 0pt; margin-bo
<ix:nonNumeric name="jpcrp_co
</p>
</td>
...
<ix:header>
<ix:hidden>
<ix:nonNumeric name="jpdei_cor:EDINETCodeDEI" contextRef=
<ix:nonNumeric name="jpdei_cor:FundCodeDEI" contextRef=
<ix:nonNumeric name="jpdei_cor:SecurityCodeDEI" contextRef=
...
</ix:hidden>
<ix:references>
<link:schemaRef xlink:type="simple" xlink:href="jpcrp030000-
</ix:references>
<ix:resources>
<link:roleRef xlink:type="simple" xlink:href="http://disclosure.e
31.xsd#rol_ConsolidatedBalanceSheet" roleURI="http://disclo
<link:roleRef xlink:type="simple" xlink:href="http://disclosure.e
31.xsd#rol_ConsolidatedStatementOfIncome" roleURI="http://
/>
...
<xbrli:context id="FilingDateInstant">
<xbrli:entity>
<xbrli:identifier scheme="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp">X9
</xbrli:entity>
<xbrli:period>
<xbrli:instant>2012-06-28</xbrli:instant>
</xbrli:period>
</xbrli:context>
...
<xbrli:unit id="JPY">
<xbrli:measure>iso4217:JPY</xbrli:measure>
</xbrli:unit>
<xbrli:unit id="pure">
<xbrli:measure>xbrli:pure</xbrli:measure>
</xbrli:unit>
<xbrli:unit id="shares">
<xbrli:measure>xbrli:shares</xbrli:measure>
</xbrli:unit>
...
</ix:resources>
</ix:header>
</div>
</body>
</html>
```

XML 宣言
XML のバージョン、文字コード等を定義します。

名前空間宣言
利用する名前空間のプレフィックス及び名前空間 URI を宣言します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-2 名前空間プレフィックスと名前空間 URI」

インスタンス値の記載
開示情報を設定します。
各値はインライン XBRL で記載します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-2 数値を表現する要素」
「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-3 数値以外の値を表現する要素」

非表示情報及びDEIの設定、提出者別タクソノミの参照、コンテキスト定義及びユニット定義は、<ix:header>タグ内で指定します。

DEI の設定
DEI を設定します。
※独立監査人の報告書ファイルの場合は、不要です。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-6 非表示情報の設定」
「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-7 DEI の設定」

提出者別タクソノミの参照
提出者別タクソノミへの参照を設定します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-6 非表示情報の設定」

コンテキストの定義
報告する会計年度、報告主体等を定義します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-4 コンテキストの定義」

ユニットの定義
報告する通貨、株数等の単位を定義します。
※独立監査人の報告書ファイルの場合は、不要です。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-5 ユニットの定義」

旧

4-1-1 ファイル構成例 (1)

(略)

図表 4-1-2 表紙ファイルのイメージ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<html version="-//XBRL International//DTD XHTML Inline XBRL
xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xmlns:ix="http://www.x
xmlns:ixt="http://www.xbrl.org/inlineXBRL/transformation/2011
xmlns:jpdei_cor="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jp
fsa.go.jp/taxonomy/jpcrp/2013-08-31/jpcrp_cor" xmlns:jppfs_c
xmlns:jpcrp030000-asr_X99001-000="http://disclosure.edinet-
xmlns:xbrldi="http://xbrl.org/2006/xbrldi" xmlns:xbrli="http://ww
xmlns:iso4217="http://www.xbrl.org/2003/iso4217" xmlns:xlink
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=
<style type="text/css">
body {margin: 9pt; font-family: "MS Mincho",serif; font-size: 9pt;
...
</style>
<title>開示府令&#160;&#160;有価証券報告書 (XBRLタグ付けサンプル)</title>
</head>
<body>
<div class="root">
<h2>【表紙】</h2>
<br />
<table>
...
<td style="padding: 0pt; vertical-align: top">
<p style="margin-top: 0pt; margin-right: 9.0pt; margin-left: 18.
【提出書類】
</p>
</td>
<td style="padding: 0pt; vertical-align: top">
<p style="margin: 0pt; margin-bo
<ix:nonNumeric name="jpcrp_co
</p>
</td>
...
<ix:header>
<ix:hidden>
<ix:nonNumeric name="jpdei_cor:EDINETCodeDEI" contextRef=
<ix:nonNumeric name="jpdei_cor:FundCodeDEI" contextRef=
<ix:nonNumeric name="jpdei_cor:SecurityCodeDEI" contextRef=
...
</ix:hidden>
<ix:references>
<link:schemaRef xlink:type="simple" xlink:href="jpcrp030000-
</ix:references>
<ix:resources>
<link:roleRef xlink:type="simple" xlink:href="http://disclosure.e
31.xsd#rol_ConsolidatedBalanceSheet" roleURI="http://disclo
<link:roleRef xlink:type="simple" xlink:href="http://disclosure.e
31.xsd#rol_ConsolidatedStatementOfIncome" roleURI="http://
/>
...
<xbrli:context id="FilingDateInstant">
<xbrli:entity>
<xbrli:identifier scheme="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp">X9
</xbrli:entity>
<xbrli:period>
<xbrli:instant>2012-06-28</xbrli:instant>
</xbrli:period>
</xbrli:context>
...
<xbrli:unit id="JPY">
<xbrli:measure>iso4217:JPY</xbrli:measure>
</xbrli:unit>
<xbrli:unit id="pure">
<xbrli:measure>xbrli:pure</xbrli:measure>
</xbrli:unit>
<xbrli:unit id="shares">
<xbrli:measure>xbrli:shares</xbrli:measure>
</xbrli:unit>
...
</ix:resources>
</ix:header>
</div>
</body>
</html>
```

XML 宣言
XML のバージョン、文字コード等を定義します。

名前空間宣言
利用する名前空間のプレフィックス及び名前空間 URI を宣言します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-2 名前空間プレフィックスと名前空間 URI」

インスタンス値の記載
開示情報を設定します。
各値はインライン XBRL で記載します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-2 数値を表現する要素」
「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-3 数値以外の値を表現する要素」

DEIの設定、提出者別タクソノミの参照、コンテキスト定義及びユニット定義は、<ix:header>タグ内で指定します。

DEI の設定
DEI を設定します。
※独立監査人の報告書ファイルの場合は、不要です。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-7 DEI の設定」

提出者別タクソノミの参照
提出者別タクソノミへの参照を設定します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-6-6 非表示情報の設定」

コンテキストの定義
報告する会計年度、報告主体等を定義します。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-4 コンテキストの定義」

ユニットの定義
報告する通貨、株数等の単位を定義します。
※独立監査人の報告書ファイルの場合は、不要です。

「5 章 報告書インスタンスの作成 5-5 ユニットの定義」

新

5-2 名前空間プレフィックスと名前空間 URI

(略)

図表 5-2-1 報告書インスタンスに設定する名前空間プレフィックス及び名前空間URIの例

No	名前空間 プレフィックス	名前空間URI	備考
(略)			
17	dtr-types	http://www.xbrl.org/dtr/type/2022-03-31	XBRL 仕様で定められているスキーマファイルの名前空間宣言
18	jpsrd_cor	http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/taxonomy/jpsrd/{タクソノミ日付}/jpsrd_cor	サステナ関連タクソノミ語彙スキーマの名前空間宣言
19	ifrs-sds	https://xbrl.ifrs.org/taxonomy/{タクソノミ日付}/ifrs-sds	ISSBタクソノミスキーマの名前空間宣言

旧

5-2 名前空間プレフィックスと名前空間 URI

(略)

図表 5-2-1 報告書インスタンスに設定する名前空間プレフィックス及び名前空間URIの例

No	名前空間 プレフィックス	名前空間URI	備考
(略)			
17	dtr-types	http://www.xbrl.org/dtr/type/2022-03-31	XBRL 仕様で定められているスキーマファイルの名前空間宣言
(追加)			
(追加)			

新					旧				
5-4 コンテキストの定義 (略) 5-4-2 コンテキスト ID の選択 (略)					5-4 コンテキストの定義 (略) 5-4-2 コンテキスト ID の選択 (略)				
図表 5-4-5 コンテキストの選択					図表 5-4-5 コンテキストの選択				
対象		コンテキストIDの選択		備考	対象		コンテキストIDの選択		備考
		連結又は個別の別 ○:あり ×:なし	期間又は時点				連結又は個別の別 ○:あり ×:なし	期間又は時点	
様式 ツリー	経理の状況以外の包括タグ	×	提出日		様式 ツリー	経理の状況以外の包括タグ	×	提出日	
	経理の状況中の包括タグ	×	会計期間			経理の状況中の包括タグ	×	会計期間	
	包括タグ以外	×	詳細ツリーに準ずる。	注 1		包括タグ以外	×	詳細ツリーに準ずる。	注 1
詳細 ツリー	主要な経営指標等の推移	○	会計期間末／会計期間		詳細 ツリー	主要な経営指標等の推移	○	会計期間末／会計期間	
	従業員の状況	○	会計期間末	注 2		従業員の状況	○	会計期間末	注 2
	サステナビリティに関する考え方 及び取組	×	会計期間末／会計期間			サステナビリティに関する考え方 及び取組	×	会計期間末／会計期間	
	研究開発活動	×	会計期間			研究開発活動	×	会計期間	
	設備投資等の概要	×	会計期間			設備投資等の概要	×	会計期間	
	発行済株式、株式の総数等	×	提出日			発行済株式、株式の総数等	×	提出日	
	所有者別状況	×	会計期間末	注 2		所有者別状況	×	会計期間末	注 2
	大株主の状況	×	会計期間末	注 2、4		大株主の状況	×	会計期間末	注 2
	発行済株式、議決権の状況	×	会計期間末	注 2、3、4		発行済株式、議決権の状況	×	会計期間末	注 2、3
	自己株式等	×	会計期間末	注 2、3、4		自己株式等	×	会計期間末	注 2、3
	配当政策	×	提出日			配当政策	×	提出日	
	役員の状況	×	提出日			役員の状況	×	提出日	
	監査の状況	×	会計期間			監査の状況	×	会計期間	
	役員の報酬等	×	会計期間			役員の報酬等	×	会計期間	
	株式の保有状況	×	会計期間末／会計期間			株式の保有状況	×	会計期間末／会計期間	
	経理の状況	○	会計期間末／会計期間			経理の状況	○	会計期間末／会計期間	
	独立監査人の報告書	×	提出日			独立監査人の報告書	×	提出日	
注 1: 様式ツリー中の要素であっても、目次項目要素直下のテキストブロック要素以外は、包括タグではないので、詳細ツリーに準じたコンテキスト ID の選択が必要である点に注意。					注 1: 様式ツリー中の要素であっても、目次項目要素直下のテキストブロック要素以外は、包括タグではないので、詳細ツリーに準じたコンテキスト ID の選択が必要である点に注意。				
注 2: 有価証券届出書においては最近日コンテキストを用いる。ただし、最近日が会計期間末コンテキストとして別途設定されているコンテキストの期間末日と一致する場合は、当該会計期間末コンテキストを用いることに注意。					注 2: 有価証券届出書においては最近日コンテキストを用いる。ただし、最近日が会計期間末コンテキストとして別途設定されているコンテキストの期間末日と一致する場合は、当該会計期間末コンテキストを用いることに注意。				
注 3: 開示府令第4号様式の有価証券報告書の場合は、会計期間末コンテキストと最近日コンテキストの両方を用います。					注 3: 開示府令第4号様式の有価証券報告書の場合は、会計期間末コンテキストと最近日コンテキストの両方を用います。				
注 4: 開示府令第4号の三様式及び第五号様式において中間配当基準日に中間決算期末日以外の日付を記載する場合は、「議決権行使の基準日(RecordDate)」を用います。					(追加)				
(略)					(略)				

新	旧
→ 温室効果ガス排出量のコンテキスト 温室効果ガス排出量の要素は、当該排出量の算定期間の末日が属する会計期間（CurrentYear など）のコンテキスト ID でタグ付けします。温室効果ガス総排出量を複数年記載する場合には、基準年を含め、それぞれの数値についてタグ付けします。なお、該当する会計期間のコンテキストが存在しない場合には、拡張してタグ付けすることができます。 (略) 5-5 ユニットの定義 (略) 5-5-1 ユニットの設定 数値情報の単位を表現するために、報告書インスタンスにユニットを設定します。ユニットには「id 属性」（以下「ユニット ID」という。）を設定し、「measure 要素」を定義します。 勘定科目の金額を日本円で記載する場合、日本円を意味する「JPY」をユニット ID に指定し、同様に日本円を意味する「iso4217:JPY」を measure 要素の値として指定します。<u>温室効果ガス排出量を記載する場合は、CO2 換算した温室効果ガス排出量を意味する「tCO2e」をユニット ID に指定し、同様に CO2 換算した温室効果ガス排出量を意味する「utr:tCO2e」を measure 要素の値として指定します。</u> なお、インスタンス値から参照されないユニットは報告書インスタンスには定義しません。また、次の「図表 5-5-1 日本円のユニット」から「図表 5-5-5-1 株当たりの金額」までのユニットに適切なものがない場合、XBRL インターナショナル（以下「XII」という。）が規定する Units Registry に登録されているもののうち、適切なものを利用できます。Units Registry は、XII によって公開されています。詳細は、XII のホームページ（http://www.xbrl.org/utr/utr.xml）を参照してください。<u>一方、温室効果ガス排出量に使用するユニットは「図表 5-5-6 CO2 換算した温室効果ガス排出量」に示す「tCO2e」（トン）に限定し、ktCO2e（千トン）や MtCO2e（百万トン）等は使用しないでください。原単位目標といった除算を用いる値の場合も、除算後の値を記載し、ユニットは「tCO2e」を使用してください。</u> ユニットに指定する値の詳細は、次の「図表 5-5-1 日本円のユニット」から「図表 5-5-6 CO2 換算した温室効果ガス排出量」までのとおりです。 (略)	(追加) (略) 5-5 ユニットの定義 (略) 5-5-1 ユニットの設定 数値情報の単位を表現するために、報告書インスタンスにユニットを設定します。ユニットには「id 属性」（以下「ユニット ID」という。）を設定し、「measure 要素」を定義します。 勘定科目の金額を日本円で記載する場合、日本円を意味する「JPY」をユニット ID に指定し、同様に日本円を意味する「iso4217:JPY」を measure 要素の値として指定します。 (追加) なお、インスタンス値から参照されないユニットは報告書インスタンスには定義しません。また、次の「図表 5-5-1 日本円のユニット」から「図表 5-5-5-1 株当たりの金額」までのユニットに適切なものがない場合、XBRL インターナショナル（以下「XII」という。）が規定する Units Registry に登録されているもののうち、適切なものを利用できます。Units Registry は、XII によって公開されています。詳細は、XII のホームページ（http://www.xbrl.org/utr/utr.xml）を参照してください。 (追加) ユニットに指定する値の詳細は、次の「図表 5-5-1 日本円のユニット」から「図表 5-5-6 CO2 換算した温室効果ガス排出量」までのとおりです。 (略)

新	旧
分母及び分子を用いたユニットを定義する場合 分母及び分子を用いたユニットを定義する場合は、divide 要素、unitNumerator 要素及びunitDenominator 要素を用います。具体例は、次の図表のとおりです。 図表 5-5-7 分母及び分子を用いる場合の例 【分母及び分子を用いる場合の例】 1 株当たりの金額を表す場合 <pre><xbrli:unit id="JPYPerShares"> <xbrli:divide> <xbrli:unitNumerator> <xbrli:measure>iso4217:JPY</xbrli:measure> </xbrli:unitNumerator> <xbrli:unitDenominator> <xbrli:measure>xbrli:shares</xbrli:measure> </xbrli:unitDenominator> </xbrli:divide> </xbrli:unit></pre> なお、項目名からは、上記図表のように単位当たりの金額で設定するものと思われる場合でも、データ型が <code>monetaryItemType</code>（金額）である要素については、分母及び分子を用いたユニットではなく、通貨のユニットを設定し、金額として入力してください（例：「温室効果ガス排出に係るコストの評価に用いた内部炭素価格（温室効果ガス排出のメートル・トン当たりの価格）」）。	分母及び分子を用いたユニットを定義する場合 分母及び分子を用いたユニットを定義する場合は、divide 要素、unitNumerator 要素及びunitDenominator 要素を用います。具体例は、次の図表のとおりです。 図表 5-5-7 分母及び分子を用いる場合の例 【分母及び分子を用いる場合の例】 1 株当たりの金額を表す場合 <pre><xbrli:unit id="JPYPerShares"> <xbrli:divide> <xbrli:unitNumerator> <xbrli:measure>iso4217:JPY</xbrli:measure> </xbrli:unitNumerator> <xbrli:unitDenominator> <xbrli:measure>xbrli:shares</xbrli:measure> </xbrli:unitDenominator> </xbrli:divide> </xbrli:unit></pre> （追加）

5-6 インライン XBRL ファイルの作成

(略)

5-6-4 Transformation Rule について

(略)

図表 5-6-23 主なルールの一覧

No	フォーマットコード	説明
1	dateerayearmonthdayjp	日本の元号Y年M月D日を表します。
2	dateerayearmonthjp	日本の元号Y年M月を表します。
3	dateyearmonthdaycjk	YYYY年M月D日を表します。
4	dateyearmonthcjk	YYYY年M月を表します。
5	nocontent	空の内容を表します。フラグの用途で使します。
6	numdotdecimal	カンマ区切り数値や小数を表します。 「nnn*nnn*nnn.n」
7	numunitdecimal	1株当たりの金額を表します。 「nnn*nnn Unit nn (Unit)」
8	<u>booleantrue</u>	<u>「true」(真)を表します。</u>
9	<u>booleanfalse</u>	<u>「false」(偽)を表します。</u>

(略)

5-6-6 非表示情報の設定

(略)

- ➡ DEI
- ➡ 表示しない値
- ➡ スキーマ参照
- ➡ ロールタイプ参照、アークロールタイプ参照
- ➡ コンテキスト定義、ユニット定義

(略)

図表 5-6-29 ヘッダ情報の設定内容(イメージ)

<ix:header>		
<ix:hidden>	DEI、表示しない値	</ix:hidden>
<ix:references>	スキーマ参照	</ix:references>
<ix:resources>	ロールタイプ参照、コンテキスト、アークロールタイプ参照、単位	</ix:resources>
</ix:header>		

(略)

5-6 インライン XBRL ファイルの作成

(略)

5-6-4 Transformation Rule について

(略)

図表 5-6-23 主なルールの一覧

No	フォーマットコード	説明
1	dateerayearmonthdayjp	日本の元号Y年M月D日を表します。
2	dateerayearmonthjp	日本の元号Y年M月を表します。
3	dateyearmonthdaycjk	YYYY年M月D日を表します。
4	dateyearmonthcjk	YYYY年M月を表します。
5	nocontent	空の内容を表します。フラグの用途で使します。
6	numdotdecimal	カンマ区切り数値や小数を表します。 「nnn*nnn*nnn.n」
7	numunitdecimal	1株当たりの金額を表します。 「nnn*nnn Unit nn (Unit)」
(追加)		
(追加)		

(略)

5-6-6 非表示情報の設定

(略)

- ➡ DEI
- (追加)
- ➡ スキーマ参照
- ➡ ロールタイプ参照、アークロールタイプ参照
- ➡ コンテキスト定義、ユニット定義

(略)

図表 5-6-29 ヘッダ情報の設定内容(イメージ)

<ix:header>		
<ix:hidden>	DEI	</ix:hidden>
<ix:references>	スキーマ参照	</ix:references>
<ix:resources>	ロールタイプ参照、コンテキスト、アークロールタイプ参照、単位	</ix:resources>
</ix:header>		

(略)

新	旧
5-6-8 Enumeration の設定 Enumeration（列挙型）は予め定義された選択肢（メンバー）から値を選択して利用できるデータ型ですが、これをインライン XBRL 上でそのまま記載すると、選択したメンバーの URI がブラウザに表示されてしまうため、DEI と同様に表紙ファイルの「ix:hidden 要素」内に設定します。 設定する値は、選択したドメインメンバーを識別する 拡張名 URI（expanded name URI）とし、「メンバーを定義するタクソノミの名前空間 URI」に「#」と「メンバーのローカル名」を連結して指定します。 図表 5-6-42 値の構造(拡張名 URI) https://xbrl.ifrs.org/taxonomy/2024-04-26/ifrs-sds#AbsoluteTargetMember 名前空間URIメンバーのローカル名 enumeration の値は、ix:nonNumeric 要素を用いて設定し、name 属性に要素名、contextRef 属性にコンテキスト ID を指定し、escape 属性に「false」を指定します。 図表 5-6 43 単一選択(enumerationItemType)の設定例 <pre><ix:hidden> ... <ix:nonNumeric name="ifrs-sds:ClimaterelatedTargetIsAbsoluteTargetOrIntensityTarget" contextRef="CurrentYearDuration" escape="false"> https://xbrl.ifrs.org/taxonomy/2024-04-26/ifrs-sds#AbsoluteTargetMember</ix:nonNumeric> ... </ix:hidden></pre> 複数選択の要素である MultipleChoice 要素（enum2:enumerationSetItemType）では、選択した複数のメンバーを、一つの要素の値として半角スペースで区切って並べて設定します。 図表 5-6-44 複数選択(enumerationSetItemType)の設定例 <pre><ix:hidden> ... <ix:nonNumeric name="ifrs-sds:CategoriesIncludedWithinMeasureOfScope3GHGEmissions" contextRef="CurrentYearDuration" escape="false"> https://xbrl.ifrs.org/taxonomy/2024-04-26/ifrs-sds#Category1PurchasedGoodsAndServicesMember https://xbrl.ifrs.org/taxonomy/2024-04-26/ifrs-sds#Category6BusinessTravelMember https://xbrl.ifrs.org/taxonomy/2024-04-26/ifrs-sds#Category7EmployeeCommuntingMember</ix:nonNumeric> ... </ix:hidden></pre> メンバー間を 半角スペースで区切る	（追加）

新	旧				
7-6 将来目標を開示する場合のコンテキスト <u>サステナビリティに関連する目標を開示する場合、当該目標を記載する開示決算期（CurrentYear）のコンテキストIDを選択してタグ付けを行います。</u>	（追加）				
7-7 報告対象期間が開示書類等提出者とバリュー・チェーン上の企業とで異なる場合のコンテキスト <u>スコープ3温室効果ガス排出量を算定する際、バリュー・チェーン上の企業の報告対象期間が、開示書類等提出者の財務報告書の報告対象期間と異なる場合があります。このような場合であっても、温室効果ガス排出量の要素については、開示書類等提出者の算定期間の末日が属する事業年度のコンテキストIDでタグ付けします。ただし、それら報告対象期間の間に、温室効果ガス排出量に関連する重大な事象又は重大な変化が発生した場合には、次の図表の要素を用いて、その影響を記載します。</u> 図表 7-7-1 使用する要素 <table><tr><th>要素名</th><th>標準ラベル</th></tr><tr><td><u>EffectsOfSignificantEventsAndChangesInCircumstancesRelevantToGHGEmissionsThatOccurBetweenReportingDatesInValueChainAndGeneralPurposeFinancialReportsExplanatory</u></td><td><u>バリュー・チェーン上の報告期間の末日と報告企業の財務報告書の報告期間の末日との間に発生した温室効果ガス排出に関連する重大な事象又は重大な変化が与える影響</u></td></tr></table>	要素名	標準ラベル	<u>EffectsOfSignificantEventsAndChangesInCircumstancesRelevantToGHGEmissionsThatOccurBetweenReportingDatesInValueChainAndGeneralPurposeFinancialReportsExplanatory</u>	<u>バリュー・チェーン上の報告期間の末日と報告企業の財務報告書の報告期間の末日との間に発生した温室効果ガス排出に関連する重大な事象又は重大な変化が与える影響</u>	（追加）
要素名	標準ラベル				
<u>EffectsOfSignificantEventsAndChangesInCircumstancesRelevantToGHGEmissionsThatOccurBetweenReportingDatesInValueChainAndGeneralPurposeFinancialReportsExplanatory</u>	<u>バリュー・チェーン上の報告期間の末日と報告企業の財務報告書の報告期間の末日との間に発生した温室効果ガス排出に関連する重大な事象又は重大な変化が与える影響</u>				
7-8 サステナビリティ関連記載事項のユニット指定に関する注意事項 <u>開示書類等提出者がサステナビリティ関連記載事項の開示に当たりSSBJ基準を適用する場合、「指標及び目標」の拡張リンクロール中の「指標の値」として、「指標の値（テキスト）」、「指標の値（数値）」及び「指標の値（％）」の要素が用意されています。「指標の値（数値）」を使用して数値をタグ付けする場合は、当該数値の単位はユニットで指定します。使用するユニットは、『EDINETタクソノミの設定規約書』を参照し、適切なユニットがない場合は、XBRL Internationalが規定するUnits Registryに登録されているもののうち適切なものを利用してください。割合（％）、整数、小数及び人数については、純粋型を用います。</u> <u>「人的資本に関する開示」においては、「目標数値」及び「実績数値」でタグ付けされた値の単位は「指標の単位」でタグ付けされた単位であるため、この2要素のタグ付けにおける数値の表示単位及びユニットは scale属性に0、unitRef属性にpureを指定します。</u>	（追加）				
7-9 「同上」、「同左」等の記載 （略）	7-6 「同上」、「同左」等の記載 （略）				

新	旧
7-10 詳細タグ付けの範囲及び方針 (略)	7-7 詳細タグ付けの範囲及び方針 (略)
7-11 訂正報告時の提出ファイル (略)	7-8 訂正報告時の提出ファイル (略)
7-12 みなし有価証券届出書 (略)	7-9 みなし有価証券届出書 (略)